

健康と生きがい・がシニアライフを考える


海風

特別・特定医療法人社団
社会福祉法人

松涛会広報誌

No.31 新年号
平成23年



 松涛会理念

「医療・介護・福祉の連携、
地域との連携」の推進により、
心豊かな地域社会に
貢献いたします。

1960年 斎藤医院玄関前で、斎藤院長と職員と近所の子供たち

海風巻頭言

二〇二一年の年頭に寄せて

行事でふり返る2010年

松涛会創立50周年記念事業

○記念誌 ○記念文化祭 ○記念切手シート
松涛会創立50周年記念事業記念講演会

○平成22年研究発表

○平成22年松涛会グループ実習受け入れ

○平成22年職場体験インターンシップ

トピックス&ニュース

新入職員研修

オフタイムの1コマ「職員旅行」

「ケアタウン江の浦」オープン



2010年 松涛会創立50周年記念にて安岡病院屋上より

慶節

二〇二一年の年頭に寄せて



松済会 理事長
齋藤 正樹

賀正

昨年は松済会の前身である齋藤内科が彦島江の浦町に誕生して五十周年という大きな節目を迎え、記念誌発行や諸行事が行われました。安岡病院は昭和五十六年オープン、今年で三十周年になります。これも、職員一同の貴い努力の結果によるもので、深く感謝の意を表します。

昨夏は記録的猛暑に見舞われ、全国に熱中症患者が相次いで発症。一昨年は新型コロナウイルス、昨年末より呪われたのではないですがノロウイルスが猛威をふるっておりま

す。我国は北方四島、日本海の竹島、東シナ海の尖閣諸島等、ロシア、韓国、中国諸国との領有権争いがあり、四面楚歌の状態です。その点、陸続きの欧州諸国の領土問題が現在殆んどありません。特にオーストリアは八カ国から囲まれて

いるのに、領土問題の紛争は聞いたことがありません。

不景気のため、大学卒業予定者の就職率が四十八%（昨年末）ですが、昨年看護学校が下関市で、二校も増加したのに受験者が約二倍あり驚きました。今年には彦島内科の増設、綾羅木に複合施設（特養、小規模多機能、グループホーム等）の新築が行われます。

団塊の世代が二〇二五年には、後期高齢者となり、高齢者比は約三〇%位に飛躍し、二〇四〇年頃より、高齢者が徐々に減少します。そのため、次世代の関係者にとって、大変な医療、福祉対策の危機が考えられます。

年頭に当り、職員、御家族の御健勝と御多幸を祈念します。



安岡病院 院長
三原 桂吉

皆様あけましておめでとございます。

ここ数年世界各地で繰り返される猛暑や寒冷、洪水や干ばつなどといった、異常気象による自然災害が、昨年も猛威をふるいました。二酸化炭素削減をはじめとする環境改善への取り組みが、もはや一刻の猶予もならない事態であることを強く感じさせられた一年でした。

政治・経済の面では、内外に山積する種々の課題に有効な手立てが打てない状況の中、昨年後半には、尖閣列島問題や北方領土問題、朝鮮半島の緊迫化など難題続出といった状況となっています。何とかならないのかと気をもんでいますが、当分はこのような混迷が続くでしょう。

一方わが松済会は、昨年創立50周年を迎えることができ、世の中が重苦しいムードに覆われていた中で、職員には明るいニュースとなりました。これもひとえに関係者の皆様方のご協力の賜物と感謝申し上げます。

病院では今年から、課題であった病院機能評価更新にむけての準備を本格化させます。V6ではV5と比べて更に質の高い病院となることが求められています。準備を本格化することで、安岡病院の理念の「医療・介護・福祉の連携、地域との連携」を確固たるものとする事に繋がるとも思っています。皆様方にはいろいろとお願ひすることが増えることと思っておりますが、どうかご協力くださいますようお願いいたします。

皆様とご家族のご健勝をお祈りいたします。

8月

夏まつり

松済会の各施設では、職員と入所者・入院患者やそのご家族、ボランティアの皆さんが大勢参加して夏まつりが行われ、演芸・お神輿・ゲーム大会などそれぞれに趣向をこらした内容で大いに盛り上がりました。



7月 23日

第15回海の日表彰式

フロイデ産島は2005年10月1日にオープンしてから現在まで職員が毎週木曜日に海岸清掃を行っている。今回、海を綺麗にする海の一般協力者奉仕活動に対する受賞を受けた。この取り組みはフロイデ産島に入所されている方、地域の方の「きれいになりますね」「ありがたう」の笑顔に支えられている。



4月 1日

ケアタウン山の田オープン

医療・介護・食事・見守り・住居の5つの安心の特長を持つケアタウン山の田がオープンしました。今の生活の不安、ご家族のご苦労、一人暮らしの困りごとなどの心配をお持ちの方はご相談してください。



3月 1日

コスモス学校開設

老人保健施設コスモスにおいて、4ヶ月間のプログラムで入所者に国語や算数等の授業を通して学校の雰囲気体験してもらおう、第一期「コスモス学校」を開校し、6月30日に開校式を行い全員に修了証書が手渡されました。



12月 22日

松済会50周年記念忘年会

1年の締めくくり恒例の松済会忘年会が行われました。今回は50周年ということで過去最高の600名が参加。永年勤続表彰(20年2名、15年7名)の他、職員の余興6チームの熱演に会場は笑いとお歓声に包まれました。職員の皆さん1年間お疲れさまでした。



12月 15日

平成22年度ケア研究発表会

地域交流ホームにて安岡病院看護部によるケア研究発表会が開催。出席者は、医師、看護師、介護士、コメディカルスタッフ等、100名参加。今年一年の事例研究8題を発表した後、座長ヤフロアから質疑応答、活発な議論が展開された。



10月 16日

緩和ケア思い出を語る会

今回で11回目となる緩和ケアの思い出を語る会には、25家族37名の方が参加されました。今後もしご遺族のグリーフケアの手助けとなるよう努力してまいります。



10月 9日

ホスピス緩和ケア巡回講演会

緩和ケアを理解してもらうために講演会と病棟見学会を開催。医療従事者や地域住民の方約200名が参加しました。がんはこれからはますます増えていくことが考えられる。緩和ケアへの理解を深めてもらい、療養する場所の選択肢として考えていただきたい。



松涛会創立50周年記念事業

演芸会



文化祭

展示コーナー



パティ



健康相談コーナー



松涛会 創立50周年誌

「松涛会創立50周年記念行事に寄せて」

松涛会50周年記念実行委員長 松井 利三（安岡病院 事務長）

我が松涛会は、昨年の12月1日、「満50歳」を迎えました。

昭和36年12月1日、現在の産島居守介護支援事業所の地に「産島内科」を開院して、あつという間の年月でしたが、お陰様で、医療・介護・福祉の連携の下、11施設31事業所を数える陣容に成長させて頂きました。

これも偏に、理事長夫妻、松涛会に携われた先人・職員の皆様方のご労苦、更には地域の皆様方のご愛顧の賜物と、感謝と深甚なる敬意の念を表する次第です。

そのような中で、見足した松涛会50周年記念実行委員会では、主な記念行事を以下の3つといたしました。

先ず、「記念講演会」ですが、平成23年2月26日（土）、ジャーナリストの「櫻井よしこ」氏を下関市生涯学習プラザにお招きして、「世界が変わる、二十一世紀の展望」と題して講演を行います。皆様のご来場をお待ちいたしております。

次に、記念文化祭でございますが、昨年10月30日（土）、「松涛会50周年記念文化祭」と銘打って、患者様やご入所者達が手掛けた絵画・工芸品など約150点を展示し、人気投票を実施。ステージでは、ボランティア、保育園児、小月海上自衛隊の方々が歌や踊り、楽器演奏を披露。また、うどん・焼きそば・不用品販売店などの模擬店17店が軒を連ねて、ご利用者・家族・地域の方々総勢約450名のご来場者で賑わい、記念行事に相応しい文化祭でありました。

最後に記念冊作成ですが、理事長を委員長として総勢18名でプロジェクト委員会を立ち上げ、足かけ約7カ月、職員各位のご協力を得て、時に50年の歳月の重厚さに浸り、次なる半世紀への旅立ちを誓い合いながら、完成の運びとなりました。

少し紹介しますと、第二部は、理事長の刊行の辞から始まり、安倍元内閣総理大臣・二井県知事等々の有力者からの祝辞。更に、特別企画として、理事長と郷土の直木賞作家古川薫氏との、「下関との半世紀、そして明日へ」と題しての対談。

共に白らの米歴・人生観をも虚心坦懐に交えた2人の対談は、明日を担う後進たちへの指針となることと思っております。

第二部は、「写真で観る松涛会」のあゆみも、地域の方々やOBが語る松涛会との思い出を織り交ぜて紹介いたします。

続いて第三部は、斎藤常務理事を囲んで、次代の松涛会を語る座談会で、戸田・大田Dr、若手職員の「未来」への熱い抱負がひしひしと伝わって来るコーナーです。

第四部は、松涛会各部署・事業所の職員紹介コーナーで、一人一人の凝縮されたメッセージが集合写真と二語に凝縮されております。

お楽しみはまだございます。記念事業と併せて、「おかげさまで50周年「松涛会」と題して、松涛会各11施設からなる「記念切手シート」の調製と、私共の朝礼のひと時を織り成す、役員員輪番による「私の一言」を隠れた文面の調本化です。平成8年から現在に亘り収録したもので、往時の職員の顔が浮かぶ等、歳月の重みを感じながら、ご覧いただけたら幸甚です。併せて、業界雑誌、新聞等に掲載された松涛会の記事多数をデータファイル化（調本化）いたしました。

これらは、次なる50年に辿り着く上で、貴重な財産となることを（温故知新の精神）確信しつつ、私達は、「成せば成る、成さねばならぬ何事も、成らぬは人の成さぬなりけり」の気概で前進したいものだと考えています。

以上

特別・特定医療法人社団 松涛会
社会福祉法人松涛会 **創立50周年 記念講演会のお知らせ**

櫻井 よしこ

演題

世界が変わる二十一世紀の展望

平成23年2月26日(土) 開場13時 開演14時

〈場所〉下関市生涯学習プラザ ドリームシニア

〈入場料〉 **無料**

ご希望の方は往復乗券にて、「住所氏名連絡先」をご記入の上、安岡病院事務局までお申し込み下さい。

後日、入場整理券番号を記載し、ご郵送致します。
(複数申込可、人数も併せてご記入下さい。)

特別・特定医療法人社団松涛会
社会福祉法人松涛会
創立50周年 記念講演会のお知らせ



櫻井 よしこ

演題
世界が変わる二十一世紀の展望

平成23年2月26日(土)
開場13:00 開演14:00
下関市生涯学習プラザ
ドリームシニア
入場料 無料
ご希望の方は往復乗券にて、「住所氏名連絡先」をご記入の上、安岡病院事務局までお申し込み下さい。後日、入場整理券番号を記載し、ご郵送致します。

申込先: 安岡病院 事務局
〒759-6804 山口県下関市横野町3-16-35
TEL 083-258-3711 FAX 083-258-2590

申込先: 安岡病院 事務局 T759-6804 山口県下関市横野町3-16-35
TEL 083-258-3711 FAX 083-258-2590

記念誌で思うこと



50周年記念切手シート

松涛会創立50周年をお祝いする三つの大きな柱を立てました。その二つの記念誌を編集するのを感じたこと。まず今までの膨大な写真・新聞記事等々50年の記録の数々を整理することから始めました。レントゲンの大袋の中に年代別に分けて入れる。そこではたと気がつきませんでした。昭和35年から56年安岡病院までの20年間、更に昭和61年社会福祉法人はまゆう苑設立までの5年間、殆ど写真が無いことにビラクリしました。



松涛会が取り上げられた記事・雑誌



私の「私の一言」

車が増え、夜間診療所が整い往診が少なくなったのはずっと後のことです。医療と福祉が車の両輪になったのはご存じの通りで、写真も多く撮るのに苦労するほどです。古川先生の対談を始め原稿をお願いしました皆様、お忙しい方が快く送ってくださり本当にうれしく思います。OBの皆様も当時を思い出し懐かしくなりました。有難う御座いました。感謝で一杯です。皆様が見て下さる楽しい記念誌になりますように祈りつつ。



松涛会50周年記念行事
プロジェクト委員会
副委員長
齋藤 妙子

斎藤医院時代は職員の誕生日のお祝い、また日曜日到津勤働園に職員の子供達とおにぎりを作って出かけたたり、老の山公園に花見に行ったり。写真はいつも食事をしてる場面です。当時、住み込みの学生3人一着だったので午前中診療所の手伝い、午後は下関看護専門学校に、帰って掃除し往診があれば靴をはじめ皆さん良く働きました。患者様をお断りしたことは一度もなかったと思います。彼等のおかげで今があるのだと思ふと涙が出てきます。

アルバムにしっかりと張り付いている写真をアルバムごと持参し、接写して資料に加えてもらいました。とにかく空白の20年です。

平成22年 研究発表

5月21日～5月22日 第22回全西老人デイケア研究大会	「個別リハビリ利用者の介護介入後の満足度の変化」 水野佳代子 中尾功史 松永美保子
5月23日 第32回山口県緩和ケア研究会	「認知障害を有する患者の疼痛と精神的苦痛に対する看護師の認識」 山本妙子 吉岡由美 山内朋子 木村京子
7月22日～7月23日 第60回病院学会	「皮膚剥離の現状報告」 杉本美子 村上加代子 水木龍子 新内俊恵 横山真澄
7月24日 山口県回復期リハビリ病棟研究会	「患者家族満足度調査から回復期リハビリ病棟におけるチームアプローチのあり方を検証する」 若本守代 山本妙子 田村孝子 西崎智美
8月24日～8月25日 第18回日本慢性期医療学会 大阪大会 ～超高齢化社会を支える慢性期医療～	「経口栄養から経口摂取への意欲向上を導く援助」 亀田美由紀 清水博子 坂野幸子
8月31日～9月1日 平成22年日本看護学会 成人Ⅱ	「神経難病家族との関わりの中で職員が感じた不安感と対応行動を分析して」 長尾智佐子 安川文子 西原実紀
10月3日 第22回山口県作業療法学会	「認知症リハビリテーション基本プログラムを作る」 船越久美子
10月10日～10月11日 第52回全日本老人デイケア研究大会	「認知障害のある高齢者に対する学習療法の効果～MMSEFABの比較から～」 水野佳代子 藤田恵美子
10月24日 竹内孝仁教授「認知症を治すケア」の研究会N山口	「散歩の機会を作った事で近い記憶が保てるようになった事例」 植野エリカ
11月10日～11月12日 第21回全国介護老人保健施設大会	「認知症高齢者のBPSDに対するアロマセラピーの効果」 山本美佐 美奈 恵
11月20日 日本医療マネジメント学会 第9回山口支部学術集会 ～医療における経済性について～	「医療機関における消費費の取り扱いについて」 逸田光博 「医療と介護の質的連携を見据えた高専質の開設について」 斎藤英樹
11月20日 日本認知症ケア学会中国地区部会	「医療・介護・福祉の連携により認知症の人を支える為に」 植野エリカ
11月28日 第20回山口県理学療法学会	「短時間週所リハビリ開設が当事業所にもたらした変化、効果について」 三原康幸
12月12日 平成22年度山口県介護保険研究大会	「当施設利用者の車イス座位の現状とシーティングの介入について」 藤岡浩司 白石夢彰 福田彰 松岡公美 栗本真由美 岩崎友美 松本菜美

平成22年 松涛会グループ 実習受け入れ

2月1日～2月6日	下関看護リハビリテーション学校	はまゆう苑	4名
2月8日～2月12日	山口県社会福祉協議会	はまゆう苑	1名
4月12日～6月4日	福崎リハビリテーション学院	リハビリテーション科	1名
4月13日～4月14日	宇部フロンティア大学	看護部	学生69名、教員5名
4月19日～6月12日	山口コ・メディカル学院	リハビリテーション科	2名
6月1日～7月30日	下関看護学校 高等課程准看護科	看護部	65名
6月7日～7月31日	川崎リハビリテーション学院	リハビリテーション科	1名
7月1日～7月7日	下関福祉専門学校	はまゆう苑、他	7名
7月14日～7月27日	山口県立西部高等産業技術学校	はまゆう苑、他	3名
7月20日～9月11日	YICリハビリテーション大学校	リハビリテーション科	1名
8月2日～11月21日	下関看護リハビリテーション学校	リハビリテーション科	5名
8月9日～10月1日	徳島徳祥会福祉専門学校	リハビリテーション科	1名
8月23日～8月27日	宇部フロンティア大学 総合人間看護学科	看護部	10名
8月23日～8月28日	九州栄養福祉大学	はまゆう苑	1名
8月28日～9月27日	下関看護学校 高等課程准看護科	看護部	28名
9月1日～10月2日	日本福祉大学 通信教育部	はまゆう苑、他	1名
9月13日～10月8日	久留米大学緩和ケア認定看護師	看護部	2名
10月4日～11月28日	福崎リハビリテーション学院	リハビリテーション科	1名
10月18日～12月11日	平成リハビリテーション専門学校	リハビリテーション科	1名
10月18日～10月22日	専門分野における質の高い看護師育成事業 山口県主催	看護部	2名
10月19日～10月28日	早瀬高校 衛生看護学校	看護部	25名
11月4日～11月15日	下関福祉専門学校	はまゆう苑、他	2名
11月16日～11月18日	YIC看護福祉専門学校	はまゆう苑、他	2名

平成22年 職場体験・インターンシップ

6月14日～6月25日	下関総合支援学校	看護部	1名
7月23日	山口県立長府高等学校	看護部	1名
7月26日～8月6日	下関総合支援学校	看護部	1名
8月24日	下関市立古見中学校	看護部	4名
10月5日	下関市立安岡小学校	看護部	72名
11月8日～11月19日	下関総合支援学校	看護部	1名
11月10日～11月12日	山口県立下関中央工業高校	看護部	4名

祝金寿 岸本尊様

特別養護老人ホームはまゆう苑

介護部主任 植田 高亮

入所者の岸本尊様が平成二十二年五月七日で百歳を迎えられました。これを記念して、まゆいばかりの金のおちんちんを贈った主人公を施設の誕生会で盛大にお祝いいたしました。市役所からも総理大臣や県知事からのお祝いの品が持参され、岸本様も笑顔で受け取られておられました。

入所されたころより、豊かな表情と類稀なる歌声で職員を元気に癒してくる存在です。「食事も「うまい」と言いながら召し上がり、またレクリエーションにも大変熱心に参加されています。

そんな元氣な岸本様も、今まで何度か体調を崩されましたが、そのたびに持ち前の強い回復力でお元氣になられ現在に至っております。私たち職員も岸本様の元氣パワーに負けまいように頑張らなければ...と思っております。金寿を迎えた岸本様の長い人生の「コマ」にかかわれることを嬉しく思います。いつまでもお元氣で...めざせ日本一



はまゆう学校開校

はまゆう苑デイサービスセンター

副主任 藤田 紀美

はまゆう苑デイサービスでは、平成二十二年十二月二日に「はまゆう学校」を開校いたしました。関係者の皆様のお力により無事開校に至りました事をお礼申し上げます。内容は、今までのレクリエーションに学習的な要素を兼ね備えたものであり、昔を懐かしみながら、楽しく脳に刺激を与えていくものとなっております。授業内容は次の通りです。

国語(朗読、漢字の書き取りなど)
算数(計算問題、そろばんなど)
体育(体操、散歩など)
音楽(楽譜演奏、カラオケなど)
園工(工作、絵画など)

授業の初めには、お一人ずつ名前を呼びますと、大きな声で返事がかえってきます。そろばんの時には、「昔は五つ玉だったけど最近では四つ玉なのね」と初めはとまどっておられました。玉を入れていくうちに思い出され、「指先や腕の体操になっていいね」と喜ばれています。三ヶ月を一クールとして、卒業式(月末)を行う予定です。生徒全員が笑顔で卒業できるように、職員一同努力していきたいと思っております。



ボランティアを受け入れて

グループホームケアタウン山の田

管理者 辻村 鏡子

桜の花の満開の頃、ケアタウン山の田が開校され、半年が過ぎました。高専實にお住まいの方、グループホーム、小規模多機能ご利用の方々、皆さんが一緒に楽しんで頂いています。活動の一部をご紹介します。

毎月一回ボランティアの方々が来館されます。「歌声喫茶」これは若かりし頃の懐かしい歌を、存分に声高らかに唄い、満ち足りた皆さんのお顔がありました。又プロ級のマジックショーでは驚きの声がかれ拍手喝采。涼風が感じられる頃、八才から八才迄、先生共々優雅なフラダンスを披露され皆さん一層に盛り上がりました。子供達からお手紙が配られ涙ぐむ人もありました。秋も深まる頃五才の可愛らしい男の子から〇〇才の幅広いメンバーにより和やかで温かいバイオリンの調べに感激しました。こうした活動も定着しつつありますが、何より素敵な出会いと旅れ合いに入居者・利用者の方々、スタッフ共々、この心温まるひと時を大事にしていきたいと思っております。



西山小学校を迎えて

ケアハウスフロイデ彦島

生活相談員 福本 玲

十二月二十六日、西山小学校の四年生の生徒さん五十八名様がフロイデ彦島を訪れ、フロイデ彦島の入居者様、利用者様、フロイデハイムの入居者様と交流会を行いました。前半は十二班に分かれて、自分たちが考えてきたゲームやトランプ、手品などを行ったり、入居者様の子供時代の話を伺ったりして、楽しい時間を過ごしました。後半は、生徒さん全員が食卓に集まり、相田みつせさんの時の朗読をまじえながら、歌を三曲披露してくれました。最後に歌った「ちみじ」では、入居者様たちもなつかしそうに、一編に口ずさんでおられました。生徒さんたちの天使のような歌声に、入居者様たちはじっと聞き入り、胸を熱くされる方もいらっしゃいました。二時間あまりの短い時間でしたが、心温まる交流会となりました。ある入居者様は、「ひと足早いクリスマスプレゼントだったね」と、満面の笑顔で、話されていました。



社会福祉法人松涛会・医療法人松涛会 新規採用職員研修会

平成22年 4月…25名 平成22年12月…19名

平成22年 4月…54名 平成22年11月…55名

研修内容	担当者
「これからの医療・介護」	理事長 斎藤 正樹
「松涛会職員としての心構え」	副理事長 斎藤 妙子
「松涛会理念・方針」	常務理事 斎藤 英樹
「就業規則・コンプライアンス」	事務長 石川 達哉
「防火避難体制について」	施設担当課長 村上 実
「急変時における介護職員の対応」	看護課部長 森園 秀美
「福利厚生について」	係長 伊田 和子
「真空低温調理の食事提供」	栄養科長 坂本 澄子
「接遇マナー研修」	スーパーバイザー 宮原 律子
「高齢者虐待防止、感染症対策、認知症等」	課長 松谷 法史

研修内容	担当者
「これからの医療・介護の展望」	理事長 斎藤 正樹
「松涛会の沿革」	副理事長 斎藤 妙子
「松涛会理念・方針」	常務理事 斎藤 英樹
「近年の医療について」	統括副本部長 浅田 光博
「松涛会組織概要」	事務長 松井 利三
「防災・避難体制について」	施設担当課長 村上 実
「就業規則・関連規程」	人事係長 嶺崎 耕司
「社会保険・厚生年金等」	人事係長 原 珠子
「真空低温調理の食事提供」	栄養科長 坂本 澄子
「リハビリテーション提供体制」	リハビリ科長 品川 紀史
「医療保険・介護保険、施設基準について」	課長兼係長補佐 獅子谷知子



新人職員研修会に参加して

緩和ケア科 看護課 上村 正恵

50年前、彦島から始まった地域医療がここまで豊かになり、多くの人々に継続されていることや、これからの展望を教えて頂きました。現在慢性の疾患を持った老人が増え、看護共に介護が重要になっていきます。医療だけでなく、他の部門の役割を知り、松涛会の一員となり取り組んでいきたいと思っています。

フロイデハイム 平本 真弓

日々の業務の中で「忙しい」「きつい」など、つい口から出てしまうことが正直あります。今回の研修で学んだことを生かし、入所者様ご家族の立場になって考え、よりよい信頼関係が築けるよう努力していきたいと思っています。

特に緩和ケア10周年ビデオの様に、毎日笑顔でいることを忘れず、他スタッフと協力し声を掛け合い、「毎日楽しい」「ここに居てよかった」と思ってもらえる職場にしていきたいと思っています。

ケアタウン山の田 小規模多機能課 三村 さや香

私が今回の新人職員研修で一番心に残った講義は、副理事長の講義です。苦勞された頃のお話、緩和ケアのお話もそうですけれど、「能力×やる気×方向性」＝組織力のお話です。

どの項目が0でも成り立たない組織力。本当にその通りだなあと感じました。これからこの職場で働いていく中で、どの項目も0にならないように、私も組織力に加われるように頑張っていこうと強く思いました。

ケアハウスオリーブ 田村 礼子

研修を受け、改めて松涛会の大きさや強さを感じました。理事長や苑長の思いがきちんと受け継がれて50年という年月になっているのだと思います。

「利用する人が何を求めているか」ということを追求して追求した結果がこのような組織になっている。その行動力や考え方に感動しました。私は介護の仕事に就くのは初めてです。責任の大きな仕事ですが、このグループの中の二員という誇りをもつていきたいと思っています。

☆オフタイムの1コマ～職員旅行記～

ポーランド

ワルシャワで、シヨパン生誕200年記念のため、彼の生家でメンポ曲を聴き、キエリー夫人の博物館を見学して感動。
斎藤 正樹

学生シヨパンがたびたび遊った楽屋。カフェもあるワルシャワの美しい市街も第二次大戦で丸裸が破壊された。アウシュビッツ収容所跡も訪ねた。人間が悪事を働きそれを防げるのも人間である。悲劇を繰り返さないために、是非。
斎藤 妙子

ポーランドと言えばアウシュビッツ。人類の負の歴史を無言のうちに物語っている。日本人でよかつた事に改めて胸をなでおろした。
上野 節子

区画も道もない延々と続く農地は旧共産国の集団農場の名残か。列車の窓から見る牧歌的な田園風景は旅を充実させてくれた。
山瀬 潤子



中世のたたずまいを残すクラクフの町、アウシュビッツの強制収容所の歴史の勉強になった。斎藤 豊子
首都からクラクフまで三時間の列車の旅が出来たこと、食の豊穡であるアウシュビッツで体験したこと、今までとは違う価値ある旅行でした。
菅 ハスミ

世界は壮大で規模がアカイ、ツイエリチカ岩塩掘場は約3kmの観光ルートだが、この岩塩坑の1%に過ぎなかった。
沖水 光代

一番印象に残ったのは、聖十字架教会での朝のミサの光景です。日本人と違い深い信仰心を感嘆しました。また欧州へ行くよう。
金本 純子

北海道

類と間違えそうな煎餅を分けて、知床五湖木道トレッキング。道東の漁船に水揚げされたばかりの地場食材での海鮮料理。素晴らしい！
菊池 福

集合時間に遅れると怖いバス旅行でした。
森岡 秀美

北海道の美味しいカボチャを知りました。
長尾智佐子

北海道に行ってみたかったので良かった。
亀田美由紀



北海道旅行楽しかった。また行きたいです。
松本美智子

去年も一層だったメンバーで楽しかった。
橋岡眞理子

来年もまた行きたくなるような旅行でした。
吉田眞澄

景色・観光・ホテル最高！次も絶対参加です。
和田まゆみ

また参加したい楽しい旅行でした。
下田 直子

景色も壮大で食事も最高でとてもよかったです。
松元 千幸

北海道の自然を満喫できて楽しかったです。
大濱 由佳

最高のおもてなしと塩の温泉に感激しました。
田村 早苗

原生林に囲まれた知床の湖は美しかったです。
河内美佐代

鯉の産卵湖を見る事ができ強運を感じました。
周本 紀恵

湯布院

素晴らしい仲間と未だかつてない楽しい旅でした。
松井 利三

念願の北海道も2回目、雄大な自然を満喫した。
村上 爽

温泉につかりリラックスした時間を過ごすことができた。
安倍 徹

両手いっぱいのもりとお土産を持ち帰りました。
小原 良江

美峰・由布岳の全貌を展望でき幸運でした。
岡田 久子

旅行というより、買物を楽しんだ一日でした。
杉本 美子

最初から最後まで笑っぱなしの旅でした。
村上加代子

由布岳の雄大な景色に大変感動しました。
長崎 達郎

露天風呂で身体と心を思い切り伸ばしてリフレッシュ。
水野佳代子

温泉に入れ「天井機」でお茶できて満足。
山本 妙子

由布岳を眺めながら楽しい時間を過ごしました。
中本 和代

湯布院は韓国入籍客が多いのに驚きました。
立石 圓枝

由布岳はなだらかでもとても美しかったです。
富田 治代

ゆづくり温泉に入れなかったのが残念でした。
中村 康志

温泉から見える雄大な由布岳最高でした。
品川 紀史

温泉に入りとてもリラックスできました。
嶋田 敏也

初めての院内旅行。たまにはいいものですね。
辻村 純子

素晴らしい紅葉と友人との語らひの旅でした。
並 なおみ

外国人観光客の多さにビックリ！
富岡 紀久江

日帰りバス旅行、窓から見る紅葉美しい。
池田 かおり

金鱗湖に映る紅葉と賑わいが印象的でした。
室水 健一

のんびりといい湯につかり晩秋を満喫。
豊田 健

何度も訪れた湯布院、今回も楽しい旅でした。
横崎 新司



ケアタウン江の浦

CARE TOWN ENOURA

平成23年4月オープン



		ショートステイ	
有料老人ホーム	3F	グループホーム	
通所リハビリ(デイケア)	2F	医療リハビリセンター	認知症対応型 デイサービス (いるか)
彦島内科	1F	駅前増設ステーション 訪問リハビリ 居宅介護支援事業所	ホームヘルプステーション 在宅介護支援センター

増設

彦島地域を支える「ケアネットワーク構想」

下関市より彦島圏域での「グループホーム」整備事業者として、当松済会を選定して頂いたことに伴い、彦島内科をベースにした在宅介護支援拠点の更なる充実化に向け、平成23年4月オープン予定で始動しています。

現彦島内科の隣接地に、1Fは在宅介護支援センター・訪問看護ST・訪問介護STの在宅支援拠点、2F既存の通所リハビリテーションの拡充と脳いきいきいるかデイサービスの通所系、3F既存のショートステイ施設跡に有料老人ホーム10室とグループホーム1ユニット、4Fにはショートステイ10室の施設系を計画しています。さらに、現居宅介護支援センター・脳いきいきいるかデイサービスの跡地に、小規模多機能居宅介護事業所と有料老人ホーム8室を計画しています。

ケアタウン江の浦が、「医療」・「介護」・「福祉」のより密接なる連携が図れる拠点となることで、彦島地域の安心と安全に貢献したいと考えています。

お申込み・
お問い合わせは

特別・特定医療法人社団 松済会
安岡病院事務局

☎083-258-3711

9:00~17:00(土曜日は12:00まで) / 日曜定休